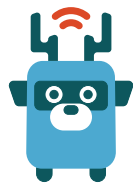


AIがルートを考えるバス

ポポカ
P O P O C A



が走り出します

生活課交通政策係 ☎(63)2163



令和8年11月4日から、鹿沼市では市民の皆さんの移動をより便利に、より快適にする新たな公共交通として、これまでのリーバス・予約バスに加え、AIがルートを考えるバス「ポポカ」の運行を開始します。「バスは時間が合わない」「自宅からバス停までが遠い」「乗り換えが面倒」…そんなお悩みを解決します。

この「ポポカ」がどんなバスなのか、3回にわけて紹介します。

新たな公共交通「ポポカ」

JR鹿沼駅と東武新鹿沼駅を含む市街地では、公共交通として路線バスの「リーバス」、関東自動車線の「荒針経由・長坂経由」が運行しています。しかし、高齢化や生活様式の変化等により移動に関する要望は多様化し、現在の路線バスだけでは十分な対応が難しくなっていました。移動手段の不足は、移動したい本人だけの問題ではなく、その人を支える家族にも負担となることから、地域全体の課題となっています。

このような状況を踏まえ、これらの課題を解決するために導入するのが、AIを活用した新たな公共交通「ポポカ」です。

どんなバスなの？

従来の決まったルートや決まった時間で運行するリーバスとは異なり、皆さんの呼出しに応じてAIが最適なルートをリアルタイムで判断し、運行する、新しい公共交通です。

タクシーのように自宅から乗降するのではなく、最寄りのバス停から乗合で運行します。予約状況により、多少の迂回が生じる場合もあります。時間に余裕をもって利用してください。

名前の由来

「ポポカ」という名前は、市内在住・在学の高校生に公募して決定しました。

広報かめまの10月号で名前にこめた思いなどを紹介します。

ポポカはどこを走るの？

中心市街地とその周辺のエリア（下図、黄色のエリア）にあるバス停からバス停までを運行します。

現在のバス停に加え、これまでバス停がなかった場所にも、**新たにバス停を設置し**、バス停の数は約2倍に増えます。

運賃やバス停などの詳細については、今後の広報かめまおよび市ホームページでご案内します。



リーバス「お買いものバス」は、11月3日に運行を終了します

日ごろより、地域の足としてご利用いただいた「お買いものバス」は、令和8年11月3日をもって運行を終了します。循環型の「お買いものバス」は、「逆周りでも運行してほしい」などの要望を多くいただいていた。今回運行を開始する「ポポカ」は、従来の運行エリアをカバーするだけでなく、定時定路線型のバスでは難しかった移動を実現します。今後も市民の皆さんの利便性向上を目指していきますので、ご理解とご協力をお願いします。